

様式第 3

一般粉じん発生施設設置(使用、変更)届出書

年 月 日

高 崎 市 長

届出者 氏名又は名称及び住所  
並びに法人にあつては  
その代表者の氏名

大気汚染防止法第 18 条第 1 項(第 18 条第 3 項、第 18 条の 2 第 1 項)の規定により、一般粉じん発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
一般粉じん発生施設の種 類		※施設番号	
一般粉じん発生施設の構造並びに使用及び管理の方法	別紙 1 から別紙 4 のとおり。	※審査結果	
		※備 考	

- 備考 1 一般粉じん発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第 2 に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。

## 別紙1

## 一般粉じん発生施設（コークス炉）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年月日	年月日
着手予定年月日		年月日	年月日
使用開始予定年月日		年月日	年月日
規模	原料の処理能力(t/日)		
	炉室数		
	炭化時間(h)		
装炭作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式		
	集じん機効率(%)		
	送風機の前動機出力(KW)		
窯出し作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式		
	集じん機効率(%)		
	送風機の前動機出力(KW)		
消火作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式		
参考事項			

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 参考事項の欄には、ガイド車の走行する炉床の強度、ガイド車の軌条の幅員等について記載すること。
- 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置(フードを含む。)の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

## 一般粉じん発生施設（堆積場）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年月日	年月日
着手予定年月日		年月日	年月日
使用開始予定年月日		年月日	年月日
規模	面積 (m <sup>2</sup> )		
	堆積能力 (t)		
堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量 (t / 年)			
使用及び管理の方法	堆積場がその中に設置されている建築物の概要		
	散水	装置の種類・型式・基数	
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /h)	
		散水の方法	
	防じんカバーの設置状況		
	薬液散布	薬液の種類・名称	
		装置の種類・型式・基数	
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /h)	
		散布の方法	
	締固め	装置の種類・型式	
		方法	
	その他	方法	

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量の欄には比重、粒度、水分値の概数及び通常の年間延べ堆積量について記載すること。
- 3 散水の方法、薬液散布の方法、締固めの方法及びその他の方法の欄には、実施の量（たとえば散水の場合は水量 1 / t）、実施頻度等を記載すること。
- 4 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 5 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの飛散防止のための装置の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙3

一般粉じん発生施設（コンベア）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規 模	ベルト幅 (cm) 又はバケット内容積 (m <sup>3</sup> )		
	単基の長さ (m) × 基数		
	ベルト又はバケットの速度 (m/分)		
	運搬能力 (t/h)		
運搬物の種類、性状及び通常の月間運搬量 (t/h)			
使 用 及 び 管 理 の 方 法	コンベアがその中に設置されている建築物の概要		
	集 じん 機	集じん機の種類・型式	
		集じん機効率 (%)	
		送風機の原動機出力 (KW)	
	散 水	装置の種類・型式	
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /h)	
		運搬量当たり散水量 (l/t)	
防じんカバーの設置状況			
その他	方	法	

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置(フードを含む。)の構造と

その主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙4

一般粉じん発生施設（破碎機、摩砕機、ふるい）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号			
名 称 及 び 型 式			
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日
着 手 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
規 模	原 動 機 の 定 格 出 力 (KW)		
	処 理 能 力 (t/h)		
処理対象物の種類及び通常の月間処理量 (通常) (t/月)			
使 用 及 び 管 理 の 方 法	破碎機、摩砕機又はふるいがその中に設置されている建築物の概要		
	集 じん 機	集 じん 機 の 種 類 ・ 型 式	
		集 じん 機 効 率 (%)	
		送 風 機 の 原 動 機 出 力 (KW)	
	散 水	装 置 の 種 類 ・ 型 式	
		装 置 の 能 力 (m <sup>3</sup> /h)	
		処 理 量 当 たり 散 水 量 (l/t)	
	防 じん カ バ ー の 設 置 状 況		
	そ の 他	方 法	

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置(フードを含む。)の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

届出参考事項

I	業種 (主要製品)				資本金	千円					
	従業員数	総従業員	人		電話番号	本社					
		工場・事業場従業員	人			工場・事業場					
面積	敷地	m <sup>2</sup>		担当部課名 及び担当者							
	建物(延)	m <sup>2</sup>									
II	ばい煙	施設番号	使用時間等			燃料		製造用 暖房用 その他の別	処理施設		
			種類	比重	使用量		種類		共有の有無	台数	新設 既設の別
	時/日	日/月	日/年	日(最大)	年						
III	騒音・振動	50m以内の学校・病院等			有	無	工場の主要 特定施設				
		建物構造	建物 No.	1		2		3		4	
	建物内の主要施設										
	主体構造										
	屋根構造										
	外壁構造										
	内壁構造										
	窓										
空調の有無											
IV	操業時間			時分～時分							
	公害関係届出該当事項			ばい煙・粉じん・VOC・水銀 水質・騒音・振動・管理者・責任者・ダイオキシン類							
V	[案内図] (別添でもよい)										
VI	騒音・振動区域の区分	第	種	用途地域		メッシュコード					

- 備考 1 I・IV及びVについては、必ず記入してください。  
 2 IIについては、ばい煙の届出の場合に記入してください。  
 3 IIIについては、騒音又は振動関係の届出の場合に記入してください。  
 4 VIについては、記入しないでください。